

板橋区の環境保全対策

～「エコポリス板橋」の実現めざして～



**板橋区資源環境部
環境保全課**

板橋区の概要



The map illustrates the geographical context of Hachioji City. It is located in the western part of Tokyo, bordering Saitama Prefecture to the west and north, and Kanagawa Prefecture to the south. Other nearby municipalities include Maebashi, Tokyo, and various wards of Tokyo. A pink arrow highlights Hachioji City's position relative to the rest of the region.



板橋区名由来



現在の板橋



板橋区の規模

- 自治体種別 特別区
- 面積 32.17 km² (23区中9番目)
- 人口 534,957人 (23区中7番目)
- 世帯数 275,320 世帯
- 予算規模 1,706億3千万円 (平成21年度一般会計予算)
内資源環境費88億9千万円
- 区政施行 昭和7年10月1日 (1932年)
- 産業 農業 2473a (平成18年耕地面積)
工業 6981億万円 (平成19年製造品出荷額等)
商業 1兆5438億円 (平成16年販売額)

区の木「ケヤキ」(昭和55年1月1日指定)



区の花「ニリンソウ」(昭和55年10月4日選定)



ニリンソウの自生地(赤塚公園)



川中美幸も歌っています

区の鳥「ハクセキレイ」(平成14年10月1日制定)



1 環境問題の変遷

- 工場公害
明治期から高度成長期 七色の川
- エコポリス板橋環境都市宣言
- 自動車公害
大和町交差点 NO₂全国ワースト1
(平成14年度(2002年))
- 地球環境問題
水環境 ヒートアイランド 地球温暖化
ゴミ カラス

板橋区の工場公害

明治時代から
高度経済成長期
昭和40年代まで
(1965年)



舟渡の工場群 (昭和39年)

大和町交差点



旧大和町交差点

平成14年度
二酸化窒素(NO₂) 全国ワースト1
SPM 全国ワースト3



現在の大和町交差点

平成19年度
二酸化窒素(NO₂) 全国ワースト4位
SPM 環境基準達成

エコポリス板橋環境都市宣言



「エコポリス板橋」環境都市宣言

豊かな自然 澄んだ空気 静かでやすらぎのある暮らしは 私たちすべての区民の願いです
板橋区には みどりや水の豊かな自然やいきいきとしたまちなみなど 誇れる環境がのごさされています
しかし 近年の盛んな都市活動は かつての良好な環境を徐々に失わせ さらに地球環境をも悪化させています
環境にやさしい暮らし方や事業活動を進めながら かけがえのない地球環境を子孫に引き継いでいくことが 私たちに課せられた責務です
私たち板橋区民は 真に快適な環境を創造するために 人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」の実現を目指していくことをここに宣言します

- 1 私たちは 毎日の生活が地球環境に影響を及ぼしていることを認識し 地球市民として行動します
- 2 私たちは リサイクルの推進やエネルギーの節約に努め 地球の資源を大切にします
- 3 私たちは みどりや水 空気を大切に守り 様々な生物が共に生きていける環境づくりに努めます

平成五年四月一日
板 橋 区

エコポリスセンター 平成7年(1995年)開設

- 環境学習の拠点
- 環境情報の発信基地



リサイクル工房



リサイクルサロン



太陽光発電機・温水器



屋上・壁面緑化

二重壁面

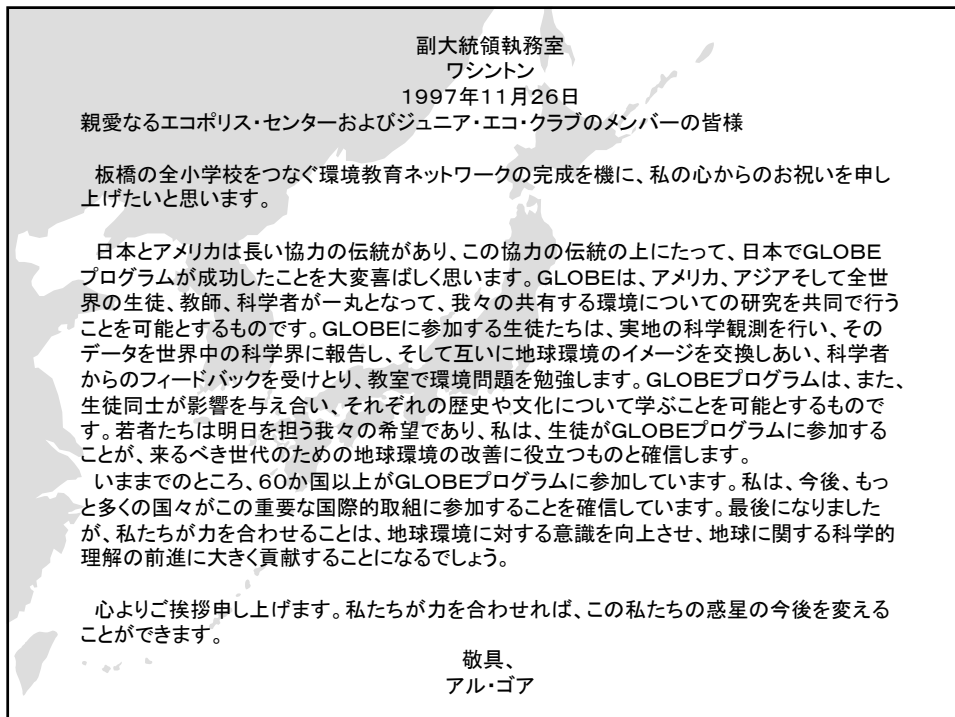


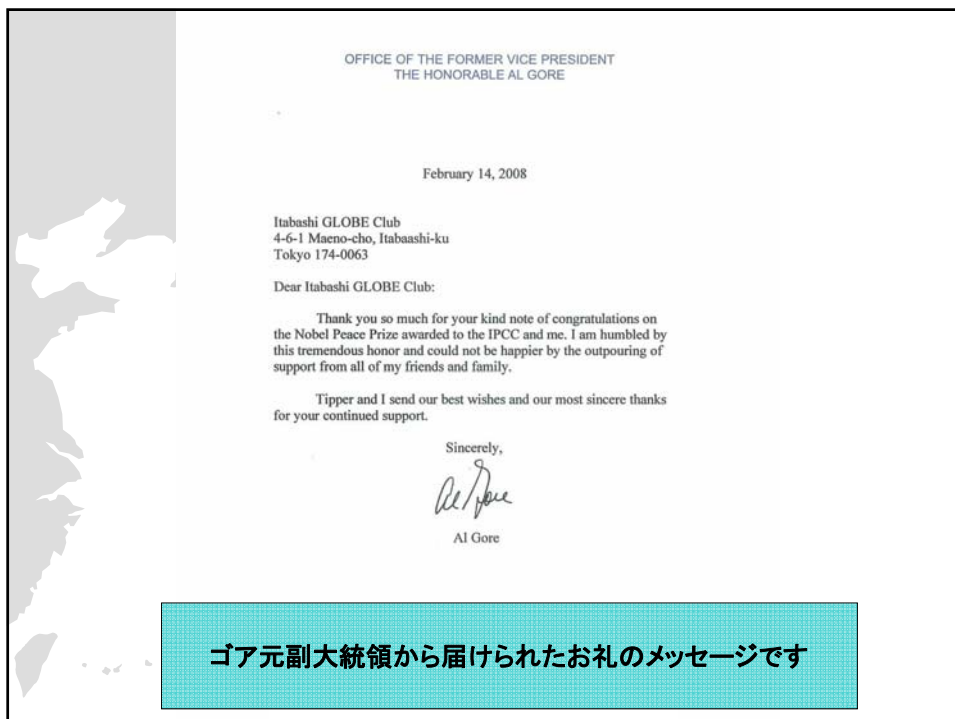
エコポリスセンター



風力発電
(クリーン電力証書システム)

燃料電池⇒マイクロガスタービン

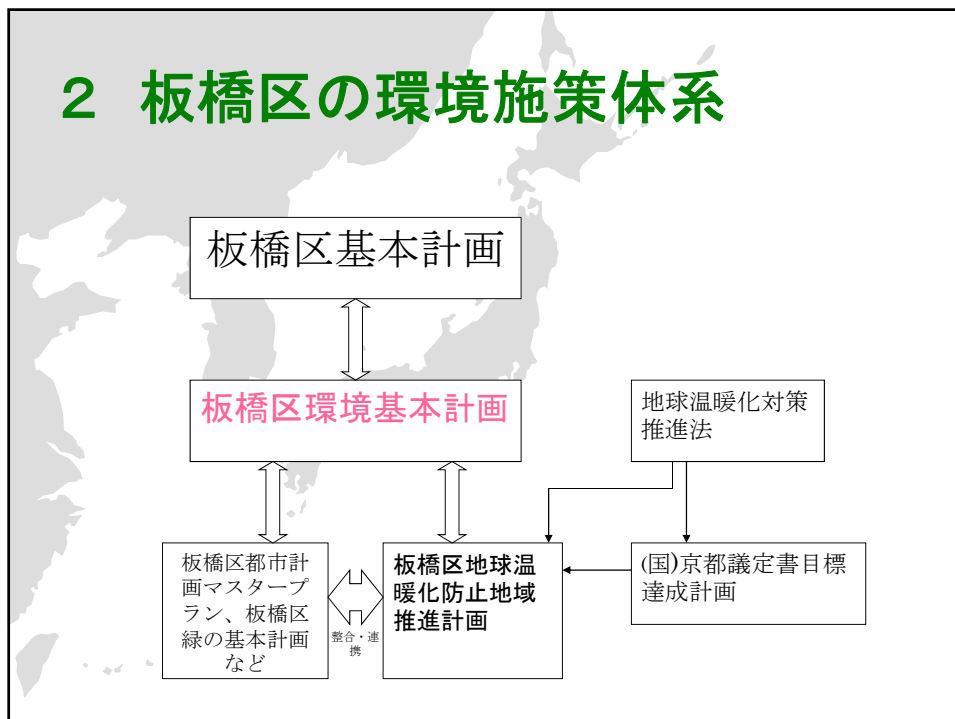




板橋区環境マネジメントシステム

- 1999(平成11)年2月
板橋区ISO14001認証取得。
- 2001(平成13)年度
小中学校及び幼稚園に適用範囲拡大。
- 2003(平成15)年度
清掃事務所適用範囲拡大。区内の**全施設が適用範囲**になりました。
- 2006(平成18)年1月
ISO14001:2004年版での認証取得。
区**の継続的環境負荷低減活動を実践しています。**

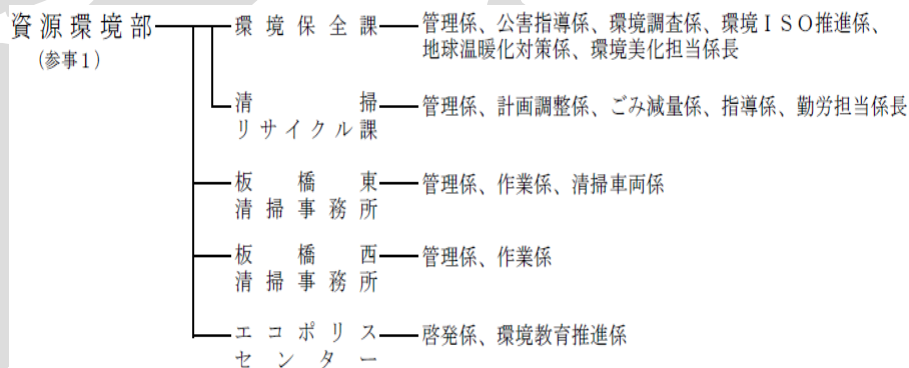
2 板橋区環境施策体系



3 板橋区の環境施策と歴史

- 公害課設置(昭和44年(1969年))
- 自動車公害対策(昭和63年(1998年)～)
- 快適環境ガイドライン策定(平成3年(1991年))
- リサイクル条例(平成4年(1992年))
- 「エコポリス板橋」環境都市宣言(平成5年(1993年))
- アジェンダ21いたばし策定(平成6年(1994年))
- エコポリスセンター開設(平成7年(1995年))
- エコポリス板橋クリーン条例(平成11年(1999年))
- ISO14001認証取得(平成11年(1999年))
- 環境基本計画(平成11年(1999年))
- 地球温暖化防止地域推進計画(平成17年(2005))
- 地下水及び湧水を保全する条例(平成19年(2007))
湧水保全地域指定(2箇所)(平成20年(2008))
- 環境基本計画(第二次)(平成21年(2009))

4 資源環境部の組織



5 板橋区の水環境保全に向けた取り組み



東京都環境確保条例による揚水規制

対象	地下水を採取する全ての揚水施設
規模	揚水施設の出力が300Wを超える揚水施設
規制項目	吐出口断面積6cm ² を超える揚水施設 ストレーナーの位置 吐出口断面積6cm ² 以下の揚水施設 揚水量、揚水機出力
地域	都内全域(奥多摩町、檜原村、島しょを除く)



地下水位変動

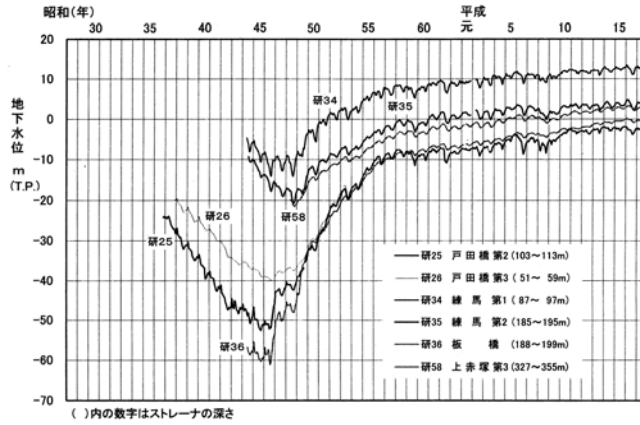


図-9 主な観測井の地下水位変動図 (板橋区、練馬区)



板橋区の湧水



板橋区地下水及び湧水を保全する条例 (平成19年4月1日施行)

条例前文

板橋区は、武蔵野台地と荒川低地とからなる起伏に富んだ地形を有し、古くから湧水があり、みどりと水の自然環境が残されている。しかし、近年都市化による地表の被覆や地下水脈の分断により、地下水及び湧水への影響が深刻になりつつある。

板橋区は、人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」を実現し、良好な環境を次の世代に継承していくために、区民や事業者等と連携して、健全な水循環を取り戻し、区民共有の貴重な資源である地下水及び湧水を保全するため、この条例を制定する。

条例の特徴

- (1) 既設井戸利用届と揚水制限
- (2) 各主体の責務
- (3) 大口地下水利用者に水位及び地盤沈下測定、報告の義務化
- (4) 湧水保全地域の指定
- (5) 工事費用等の補助
- (6) 地下水及び湧水の保全に係る計画
- (7) 勧告・公表・命令・罰則



湧水・地下水保全施策

▶ 湧水保全地域の指定

- 雨水浸透ます(無料設置)
- 雨水貯留設備(補助金)
- 駐車場等透水性舗装
- 雨水流出抑制指導(大規模住宅)

湧水保全地域の指定(平成20年3月31日決定)

■ 地下水及び湧水保全検討会の設置

条例第11条に規定する湧水保全地域の指定について検討するために、地下水及び湧水保全検討会を設置し、学識経験者2名、関係行政機関の職員3名の委員5名とオブザーバーの方1名を加えて検討会を三回開催。

検討項目は、「板橋区の地下水及び湧水の現状、検討候補地の調査報告、検討候補地の現状視察等」である。

最終検討会において二箇所の湧水保全地域が候補に推薦され、平成20年3月31日区長決定の運びとなった。

委員長	田中 正	筑波大学大学院生命環境科学研究科教授
委員	守田 優	芝浦工業大学工学部土木工学科教授
委員	森田 泰夫	板橋区資源環境部長
委員	西谷 昭比古	板橋区都市整備部長
委員	弓削多 栄	板橋区土木部長
オブザーバー	川島 真一	東京都土木技術センター

「不動の滝」



湧水保全地域に決定！

赤塚不動の滝保全対策

- 雨水浸透ます設置 7軒 22基
- 駐車場透水性舗装 2箇所
- 雨水流出抑制指導住宅 3施設
- その他
農地保全・緑地保全の推進

志村城山公園



湧水保全地域に決定！

志村城山公園保全対策

- 雨水浸透ます設置 1軒 10基
- 駐車場透水性舗装 4箇所
- 雨水流出抑制指導住宅 3施設
- その他
小学校校庭の透水性・緑地保全の推進

6 緑のカーテン(壁面緑化)普及・啓発

板橋区本庁舎
南館



高島平くるみ保育園



氷川児童館



蓮根ロータス商店街

イクレイ世界大会2009（カナダ・エドモントン市）



2009/06/15 ICLEI World Congress

**Let's Spread Green Curtains
Together As A Town ♪**

Itabashi City, Tokyo



小中一貫カリキュラムで系統的な 環境教育

板橋区環境教育カリキュラム 平成20年2月策定

● カリキュラムのコンセプト

多様性

つながり
かかわり

地球規模で考え
足元から行動する

(2) 三期で系統的な学び

評価・意思決定期 (中学校2・3年生)

認識・問題把握期 (小学校5・6、中学校1年生)

感受期 (小学校3・4年生)

(3) 板橋区環境教育テキスト「未来へ」



目次	ページ
目次	
Ⅱ「エコポリス板橋」環境都市宣言	
1.1 さまざまな自然や文化	
1. 日本にある世界遺産を調べよう！	2
2. 区内で未来にしたいものは？	3
3. さまざまな動物・ごん虫を調べよう！	4
4. 区内でほんご	5
動物・ごん虫が現れるだろうか？	5
5. さまざまな森林のはたらきを知ろう！	6
6. 海のみわたりで植物は	6
どのように利用されている？	7
7. さまざまな生物の	7
つながり調べよう！	8
8. 多くの生物がすめる	8
場所をつくるには？	9
1.2 自然とわたしたちのくらしのつながり	
1. 水と産業や生活とのつながりを考えよう	10
2. 水はホントにたくさんあるの？	11
3. 水の大切な使い方を調べよう！	12
4. 水がよごれるのはどうしてだろう？	13
5. 1年中、野さいやくだもが	14
これをわけて調べよう！	14
6. 板橋区でも野さいはつくられている？	15
7. 田んぼのはたらきを調べよう！	16
8. 米作りとわたしたちの生活は	17
どんな関係があるのだろうか？	17
9. 生活の中で使われている石油を調べよう！	18
10. 日本は資源が豊富にあるの？	19
11. 「もったいない」ごみを調べよう！	20
12. ごみはどこへ行くのだろうか？	21
13. 空気をよごす原因を調べよう！	22
14. 空気をよごさない工夫は	23
どんなものがあるだろうか？	23
1.3 生き物に大きなつながりの中にー南蓮から学ぶ	24

環境と共生する都市 「エコポリス板橋」をめざして

